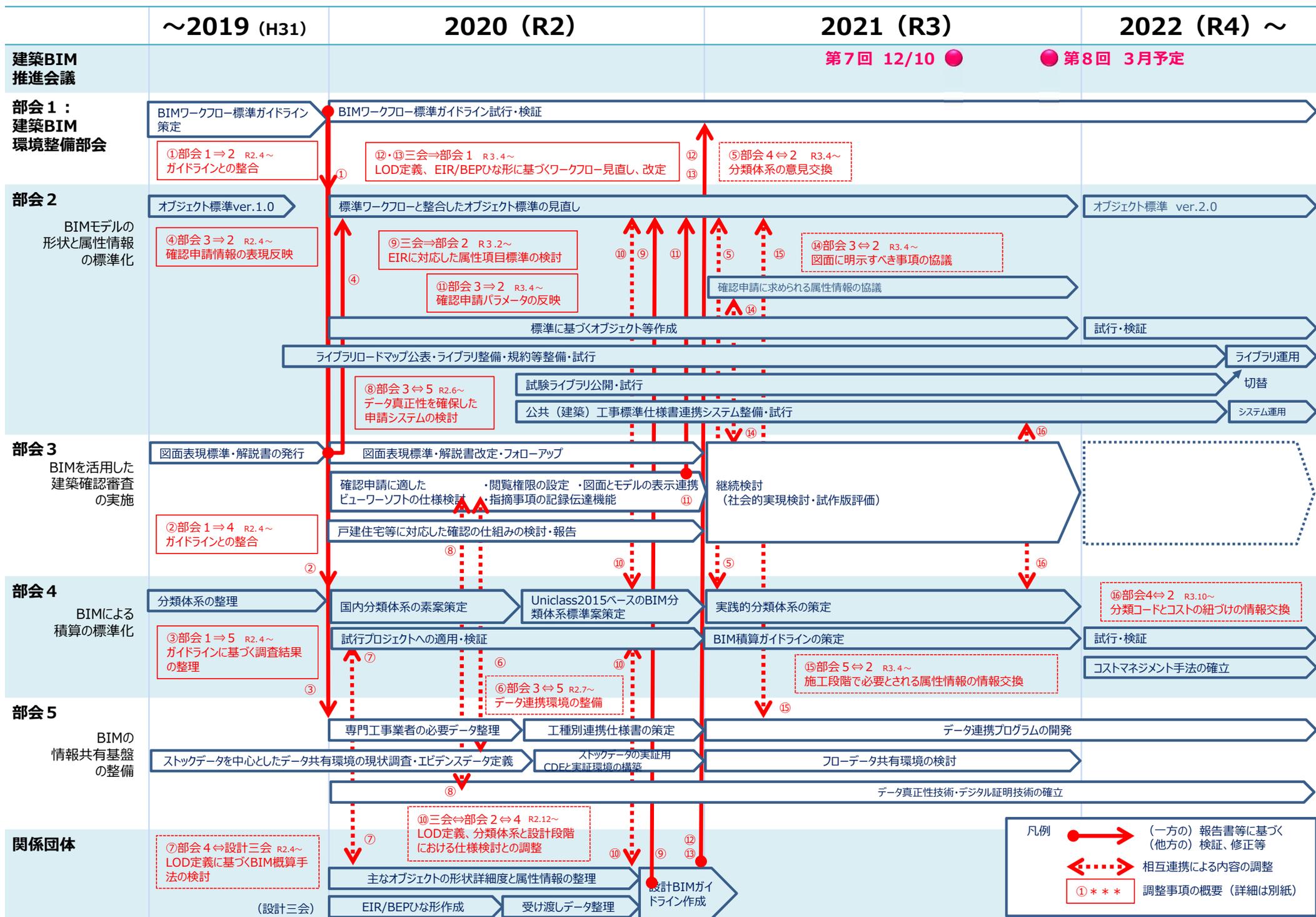
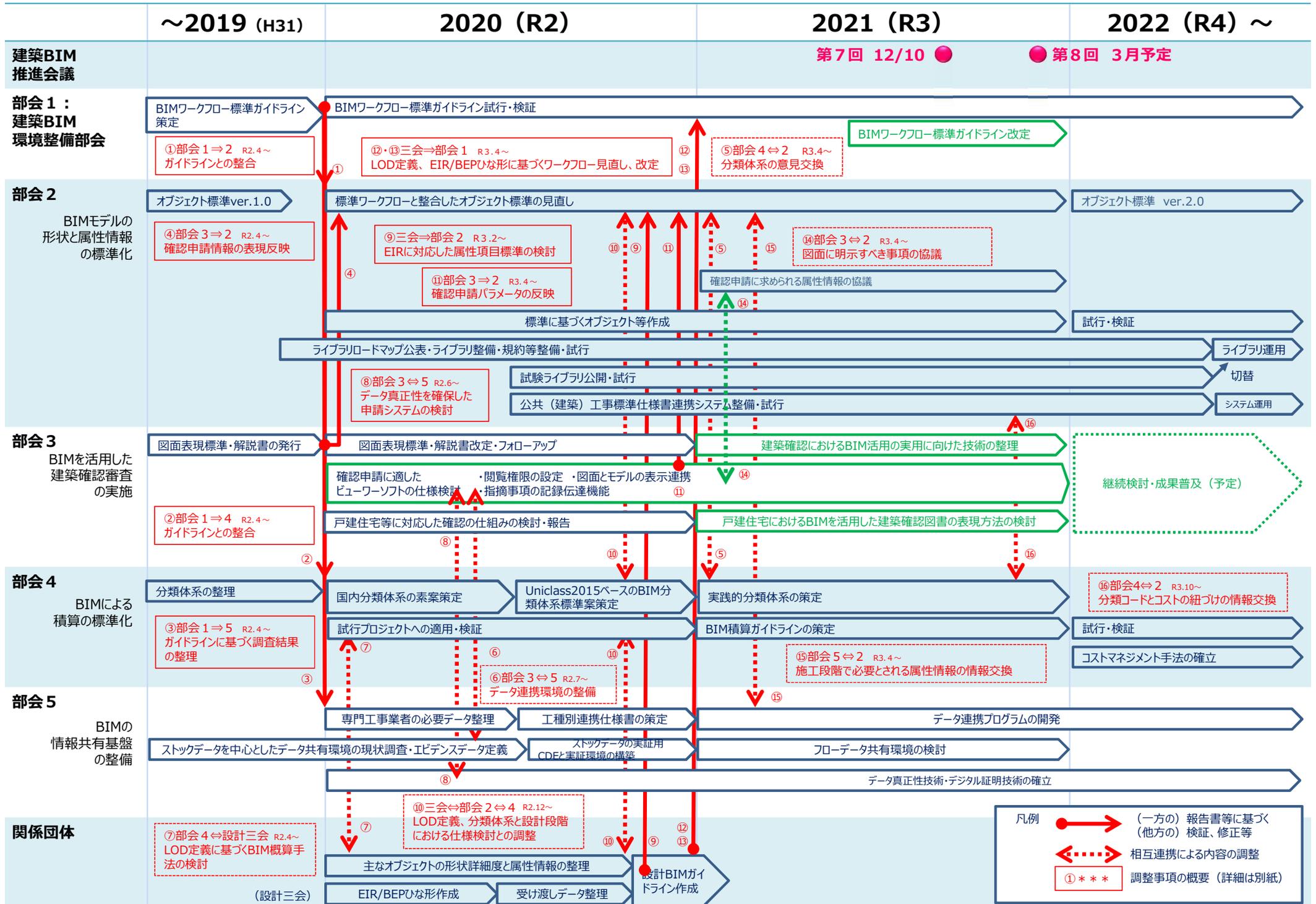


# 建築BIM推進会議 部会連携のスケジュール(令和2年12月時点)





**凡例**

- → (一方) 報告書等に基づく (他方) 検証、修正等
- ← ● → 相互連携による内容の調整
- ①\*\*\* 調整事項の概要 (詳細は別紙)

項目	内容	対応者	想定対応時期	令和3年11月時点の進捗状況	
①部会1⇒2 ガイドラインとの整合	建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第1版)(以下、BIMガイドライン)との整合を図り、オブジェクト標準の見直しを行う。	部会2	2020(R2).4~	検討中	部会2でオブジェクト標準を策定するに当たり、BIMガイドラインのステージを参照し、属性項目の分類を検討している。
②部会1⇒4 ガイドラインとの整合	BIMガイドラインとの整合を図り、分類体系の見直しを行う。	部会4	2020(R2).4~	検討中	部会1と連携し、分類体系の整理拡充を実行中。部会4の作業進捗状況は、BSIJ情報委員会等で適時部会1に情報伝達。
③部会1⇒5 ガイドラインに基づく調査結果の整理	BIMガイドラインの内容に基づき、調査結果の整理を行う。	部会5	2020(R2).4~	検討中	BIMガイドラインの内容とCDEの調査結果に基づいて、今後検討を行なう予定としている。
④部会3⇒2 確認申請情報の表現反映	確認図面の表現標準および解説書に基づき、オブジェクト標準の見直し、改定を行う。	部会2	2020(R2).4~	検討中	部会3より令和2年度成果を提供・共有 部会2で意匠・設備パラメータリストへ展開予定。
⑤部会4⇔2 分類体系の意見交換	分類体系の考え方等に関する意見交換を行う。	部会2	2021(R3).4~	検討中	R3.3から部会2と部会4で意見交換を行い、分類体系に関する課題を抽出し、共通認識化を図った。今後は、その課題解決に向けた検討を行う予定。
⑥部会3⇔5 データ連携環境の整備	確認申請におけるデータ連携環境について、要望事項と技術的課題を整理し、対応方針の策定を行う。	部会3・5	2020(R2).7~	検討中	部会5(bSJ)として、R2年度BIMプロジェクトのデータ共有システムの調査を行ない、共通データ環境の具備すべき機能についての検討を行なった。R3年度から、共通データ環境におけるIFCデータの取扱いについて検討を進めている。 部会3との連携については、部会5の検討結果を踏まえ、協議の予定としている。
⑦部会4⇔設計三会 LOD定義に基づくBIM概算手法の検討	基本計画、基本設計のステージで概算精度を高めるためのBIMデータの形状と情報に対する役割と責任の整理	部会4・三会	2020(R2).4~	検討中	設計三会から公表された「設計BIMワークフローガイドライン建築設計三会(第1版)」を参考に、部会4内でLOC定義を検討中。今後設計三会との具体的作業内容を検討する。
⑧部会3⇔5 データ真正性を確保した申請システムの検討	⑥に関連し、データ連携環境の構築とともに、データの真正性を確保した申請システムについて検討する。	部会3・5	2020(R2).6~	検討中	部会5(bSJ)として、R2年度データの真正性についての検討を行なった。R3年度から、システムの試作検討を進めている。 部会3との連携については、部会5の検討結果を踏まえ、協議の予定としている。
⑨三会⇒部会2 EIRに対応した属性項目標準の検討	EIRとBEPのひな型に対応した属性項目をオブジェクト標準に反映する。	部会2	2021(R3).2~	検討中	部会2でオブジェクト標準を策定するにあたり、三会のEIRとBEPのひな型の詳細度表を参照して、属性項目の分類を検討している。
⑩三会⇔部会2⇔4 LOD定義、分類体系と設計段階における仕様検討との調整	設計段階における形状詳細度と属性情報量の段階的な定義について整理する。	部会4・2・三会	2020(R2).12~	検討中	三会が策定した詳細度表を参照して、R2年度に部会2で検討用サンプル建物(建築のS2とS3)を策定し、BIMモデルで詳細度を確認した。
⑪部会3⇒2 確認申請パラメータの反映	確認申請ビューに表現するパラメータをオブジェクト標準の標準パラメータに追加する。	部会2	2021(R3).4~	検討中	部会2で策定した検討用サンプルモデル(建築・設備ともS3)を部会2から部会3へ提供/部会3で確認申請用ビューに表現するパラメータを検討中。
⑫三会⇒部会1 LOD定義に基づくワークフロー見直し、改定	BIM標準ワークフローのステージ毎での形状詳細度、属性情報量の検討内容に基づき、BIMの標準ワークフローの見直し、BIMガイドラインの改定を行う。	部会1	2021(R3).4~	検討中	ガイドラインの改定について、部会にて検討中。形状詳細度、属性情報量をふまえた検討については、次回以降の改定に向け、継続検討項目として整理した。
⑬三会⇒部会1 EIR/BEPひな形に基づくワークフロー見直し、改定	EIR/BEPひな形に基づき、BIMの標準ワークフローの見直し、BIMガイドラインの改定を行う。	部会1	2021(R3).4~	検討中	ガイドラインの改定について、部会にて検討中。EIR/BEPについては、ガイドラインの改定の際に事例として示す方向で調整中。
⑭部会3⇔2 図面に明示すべき事項の協議	確認審査の「図面に明示すべき事項」をBIMの属性情報に展開し、必要な情報がすべて含まれるか、定義は同じか等協議する。	部会2	2021(R3).4~	検討中	部会2で策定したBLCJパラメータリストと、検討用サンプル建物(建築・設備ともS3)を部会2から部会3へ提供/部会3で確認審査の「図面に明示すべき事項」を検討中。検討用サンプル建物における「図面に明示すべき事項」で不足する属性情報の結果は部会3から部会2へ提供予定。 部会2と部会5で連携し、施工段階(専門工事業者連携)に必要な属性情報の共通化を見据えて情報交換を行なっている。ドア、EVを中心に窓、シャッター、便器・洗面の属性情報の共通化を行ない、今年度は~S3レベルまでの属性情報を策定予定としている。
⑮部会5⇔2 施工段階で必要とされる属性情報の情報交換	主に施工段階で必要とされる属性情報の共通化に関する情報交換を行う。	部会2	2021(R3).4~	検討中	
⑯部会4⇔2 分類コードとコストの紐づけの情報交換	分類コードとコストの紐づけの考え方に関する情報交換を行う。	部会2	2021(R3).10~	検討中	部会2で策定した検討用サンプル建物(建築・設備ともS3)を部会4に提供し、概算算出に活用中。そのうえで、今後、分類コードとコストの紐づけの可能性を検討予定。